

鈴木 康仁

国際ロータリー第 2760 地区 2025 - 26 年度 ガバナーに聞く

国際ロータリー第 2760 地区（愛知県）の新ガバナーに鈴木康仁氏が就任した。任期は 7 月から来年 6 月まで。地区 84 クラブの会員数は 4,559 人（3 月末現在）と全国トップクラス。大組織をまとめるのは大変だが、鈴木氏は「“笑門来福”。笑うと楽しい、満ち足りた気持ちになります。ロータリーも会員自らが楽しんで人のための事業をしていきたい」と話す。課題と抱負を聞いた。

（聞き手は塚本隆編集長）



人様のためにできること、楽しい語り合いから

—就任の感想をお聞かせください。

鈴木康仁ガバナー（以下 鈴木ガバナー） 会員数を誇る地区ですから、運営は大変だな、と思います。これまでの 1 年は準備期間でしたが、これからも相当勉強をしないとガバナーの責任は果たせないと感じています。

—新年度のテーマは何ですか。

鈴木ガバナー 国際ロータリー（RI）のテーマは本年度からなくなりますが会員増強とポリオ根絶そして平和構築は重要なテーマです。

—最大の課題でしょうか。

鈴木ガバナー そうです。会員増強は、私たちロータリークラブの大きな課題の 1 つだと思います。ロータリークラブの財産は会員一人ひとりで、その宝物を大切に増やしていかないと受け止めています。もう 1 つの大きな課題はポリオ（脊髄性小児まひ）の根絶です。ロータリーが長年取り組んできた事業で、あと一息のところまで来ています。しかしながら、ポリオは、感染が瞬間に広がる病気です。予断は許されませんので、根絶するまで時間をかけてでも足を止めてはならないと考えています。そして、このことはもう一つの平和構築にも大きく関わりがあると思っています。

—活動推進のため「TEAM SUZUKI」を立ち上げましたね。

鈴木ガバナー ポリオ根絶に特化した会議体です。第 2760 地区は尾張に 3 つ、名古屋に 2 つ、

三河に 3 つの計 8 分区それぞれにガバナー補佐がいます。この 8 人のガバナー補佐とポリオプラス委員長、公共イメージ向上委員長、ロータリー奉仕委員長などで構成しています。補佐を中心にチームを通して地区内の会員の皆さんと情報を共有し、かつ、クラブのポリオ根絶活動のために何ができるのかを考えサポートしていきたいと思っています。

—会員増強の具体策は。

鈴木ガバナー 現在、様々な様式のクラブ設立が可能になっていますが、当地区では現存クラブ内に衛星クラブを作り、諸事情で入れなかった方々に声をかけ会員を増やしていこうという動きを活発にしようと考えています。例えば、クラブ内に女性だけのクラブを作るとか、親子で入れないときには若い息子さんたちだけの衛星クラブを作るとかです。いずれにせよ、これは一つの考え方ですから、各クラブが増強という課題に対し、とにもかくにも意欲的に取り組んでいただければと願っています。

—広く参加者を募る考えですね。

鈴木ガバナー はい。ロータリーは一般の方々への啓蒙運動もしていかなければいけないと考えています。ポリオ根絶のためにロータリアンではない一般の方にも理解してもらうことが大事だと思います。地域に密着して社会ニーズに応えた奉仕活動はもちろんですが、地域から世界平和へと考えを広げていくのもロータリーですからね。